

前進回答知らせよう

札幌 全医労スト回避 報告集会

札幌地区労働組合総連合は1日朝、北海道医療センター前（札幌市西区）と北海道がんセンター前（白石区）

で、全日本国立医療労働組合に連帯するストライキ行動を宣伝と集会に切り替え、3回目交渉で要求の一部前進

がはかられたと職員らに報告しました。

がんセンター前で

は、交渉妥結とスト回避を知らせるピラを職員や市民に配布。「さらなる賃金・労働条件の改善で『よい医療』をめざしましょう」と呼びかけました。

院内で行った報告集会で、全医労北海道地

方協議会の黒岩勉副議長は、「われわれの要求はないがしるにできるものではないと伝わっている。地域性がある中、一丸となって妥結できたことは大きな成果です」と参加者らをねぎらいました。

佐賀正悟事務局長



前進回答を喜び合う参加者＝1日、札幌市

は「外に向けたアピールだけではなく、使用者へのプレッシャーをかける行動も大切」と述べ、効果的な賃上げのための行動の成果だと強調。「春闘前に先頭に立って示してくれた全医労のこの経験を生かして、札幌、全道、全国に広げてみんなで盛り上げていきましょう」と呼びかけました。

参加者からは、「先の見える回答が聞いたことは、今後のたたかいの励みになる」「労働組合があったからこそということ、未加入の職員に何より知らせたい」など喜びや決意が語られました。